

# 医療用禁煙補助薬欠品&品薄状況における外来禁煙治療の指針

平成22年10月25日

日本禁煙学会 禁煙治療と支援委員会（委員長 藤原 久義）

ご存じのように平成22年10月1日からのタバコの値上げに伴い、外来禁煙治療の希望者がこれまでと比較し大幅に急増しています。それに伴い、禁煙補助薬の大部分を占めているチャンピックスは需要の増大に生産・在庫が間に合わず、すでに使用中の患者への供給を確保するためにも、新規患者への使用は困難な状況、すなわち欠品の状況です（資料1）。一方、ニコチネルTTSについても急激な需要増のため品薄状況で、チャンピックスの欠品状況が継続し、ニコチネルTTSへの需要がさらに増大すれば欠品になる可能性もあります（資料2）。

メーカーからの情報では来年1月には供給が間に合うようになるとのことですので、この数カ月間の問題ですが、この緊急事態に対し、日本禁煙学会「禁煙治療と支援委員会」として、「医療用禁煙補助薬欠品&品薄状況における外来禁煙治療の指針」を出すことになりました。当然ですが、ここで示す保険適応は、ニコチン依存症管理料算定基準を満たす場合です。

なおこの指針は、会員に遵守を求める規則ではなく、あくまでも参考としていただく提案ですので、医療機関の体制や患者さんの状況によって、柔軟に運用していただければ幸いです。さらにチャンピックスの欠品やニコチネルTTSの品薄の程度は全国一律ではなく、地域や各病院・医院によりかなりの差がありますので、この点についてもご注意ください。

皆様のお役に立てることを願っています。

また、日本禁煙学会としては厚生労働省に対して緊急要請を出していますので、参考にしてください<http://www.nosmoke55.jp/action/1010shortofdrug.pdf>。

## 1. 新規の禁煙治療申し込みの患者に対して

チャンピックス(欠品)やニコチネルTTS(品薄)を確保できる状況になるまでに3カ月ほど(来年1月が目安)必要とするかもしれないことを説明した上で、A、B、Cの選択肢を示し、患者に選んでもらう。

- A. 医療用禁煙補助薬を使わず、ニコチン依存症管理料を算定して標準で5回の禁煙治療(12週間)を開始する。

- ・メリット：日程が決まっているので治療のメリハリがつけやすい
- ・デメリット：治療中に禁煙補助薬が入荷した場合は、必要であれば保険での処方ができるが、その期間は短くなる。

治療終了後に禁煙補助薬が入荷しても、保険での処方できない

- B. 各患者に最適と思われる期間（毎週～数週毎）で、ニコチン依存症管理料を算定しない禁煙指導面接を開始する。その場合は原則として自費診療になるが、患者に喫煙関連疾患（慢性気管支炎、慢性咽喉頭炎等）があったり、またはその疑いがある場合には、それらの保険診療として行うことができる。

指導面接を行っても禁煙補助薬が必要な患者に対しては入荷次第、投与し、管理料の算定を始める。

- ・メリット：禁煙補助薬が入荷すれば、保険での処方ができる
- ・デメリット：禁煙指導を行いうる疾患がなければ自費での治療になる

- C. 初めから医療用禁煙補助薬を使用することを希望する患者にはとりあえず来年1月以後に予約を入れ、それより早く禁煙補助薬が入荷してきたら連絡して前倒しする。申し込みから予約日までの日数が長くなるときには、患者が予約日を失念しないよう、予約日1週間前や予約日前日などに確認の電話をする。

- ・メリット：万全の体制で禁煙治療を提供できる
- ・デメリット：今高まっている患者のモチベーションを活かせない

## 2. すでに初診の予約を入れてある患者に対して

電話等で連絡して上記の相談をする。

## 3. すでにチャンピックスまたはニコチネルTTSの処方を開始している患者に対して

処方が可能な限り継続するが、欠品の恐れのあることを早めに伝えておく。処方できなくなっても、面接指導で最終回まで支援していくことを説明。

### ★医療用禁煙補助薬を使わない場合の禁煙指導面接のポイント

1. 医療用禁煙補助薬は確かに禁煙初期の離脱症状を低減し、禁煙成功率を上昇させるが、

禁煙に必須のものではない。

2. 専門家による指導は禁煙補助薬に劣らぬ効果がある。
3. 禁煙は自転車に乗れるようになるのと同じような「練習」で、チャレンジを重ねれば重ねるほど成功しやすくなる。医療用禁煙補助薬が再入荷するのをただ待っているより、専門家のサポートを受けながら禁煙の技術を上達させておいた方が、もし医療用禁煙補助薬を使っただけの治療が必要になった場合でも、成功率が上がる。
4. 医療用禁煙補助薬以外のOTCのニコチンパッチやニコチンガムを薬局で入手できるようであれば、それらを各自で購入して使用してもらいながら、外来通院で指導面接を行うことができる。(治療者はメーカーHPなどでOTC各製品の用法や医療用製剤との違いについて確認しておくこと)

### ★禁煙補助薬を使わない場合の禁煙指導面接の手順

1. 初診
  - ・喫煙状況、過去の禁煙状況の評価
  - ・呼気一酸化炭素濃度測定と結果説明
  - ・禁煙開始日決定
  - ・禁煙にあたっての問題点把握とアドバイス
  - ・次回診察日の確認
2. 再診
  - ・禁煙状況や離脱症状に関する問診
  - ・呼気一酸化炭素濃度測定と結果説明
  - ・禁煙継続にあたってのアドバイス  
(禁煙開始できないまたは再喫煙時には、初診同様の問題点把握とアドバイス)
  - ・次回診察日の確認

### ★医療用禁煙補助薬を使わない場合の禁煙指導面接に役立つ資料

(\*は禁煙に特化した内容ではないが、禁煙指導の面接技術を向上させる入門書、入門資料として優れている)

1. 基本的手順と手技
  - ・日本禁煙学会編『禁煙学』南山堂(とくに「II禁煙の医学」)
  - ・谷口千枝「禁煙治療に役立つ!問答集」(日本禁煙学会会員向けHPよりダウンロード;パスワードは2010年5月1日tc通信を参照)※本資料は会員向けです。悪しからずご了承下さい

- ・『禁煙治療のための標準手順書 第4版』（日本循環器学会HP等よりダウンロード）
- ・田中英夫編『事例で学ぶ 禁煙治療のためのカウンセリングテクニック』看護の科学社
- ・S・ロルニック、P・メイソン、C・バトラー『健康のための行動変容』法研\*

## 2. OTC禁煙補助薬HP

- ・ニコレット（ガム、パッチ）：<http://www.nicorette-j.com/>
- ・ニコチネル（ガム、パッチ）：<http://www.nicotinell.jp/>
- ・シガノンCQ（パッチ）：<http://ciganon.jp/>

## 3. 動機づけ面接法

- ・神奈川県内科医学会編『今日からできるミニマム禁煙医療 2008年5月暫定版』  
(<http://kieniryu.cocolog-nifty.com/blog/> よりダウンロード)
- ・WR・ミラー、S・ロルニック『動機づけ面接法 基礎・実践編』星和書店\*
- ・S・ロルニック、WR・ミラー、C・バトラー『動機づけ面接法 実践入門』星和書店  
\*
- ・原井宏明『動機づけ面接トレーニングビデオ[導入編]』（DVD）  
(<http://homepagel.nifty.com/hharai/> より購入可) \*

## 4. 認知行動療法

- ・K・イヴィングス『喫煙の心理学』産調出版
- ・臼井洋介「認知行動・動機づけ想定問答集」（日本禁煙学会会員向けHPよりダウンロード；パスワードは2010年5月1日tc通信を参照）※本資料は会員向けです。悪しからずご了承下さい
- ・伊藤絵美「禁煙指導に活かす認知行動療法」第17回禁煙医師連盟学術総会イブニングセミナー・プレゼンテーション資料  
(<http://www.nosmoke-med.org/slide2008.html> よりダウンロード)
- ・伊藤絵美『DVD認知療法・認知行動療法カウンセリング初級ワークショップ』星和書店\*
- ・M・エデルシュタイン、D・スティーアール『論理療法による3分間セラピー』誠信書房  
\*